

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	戸沢村役場			
実習期間	令和 2 年 2 月 17 日 ~ 令和 2 年 2 月 21 日			
学生氏名	早坂颯太			
実習プログラム	2月17日（月）二日間まちづくり課で実習			
	午前		午後	
	8:30	出勤	13:00	分譲住宅計画（プラン立て） ↓
	9:30	住宅見学		
	11:00	午前まとめ		
	11:30	午後スケジュール確認		
	12:00	お昼休憩	17 : 15	退勤
	2月18日（火）			
	午前		午後	
	8:30	出勤	13:00	↓
	8:35	分譲計画 ↓		
	12:00	お昼休憩	17 : 15	退勤
	2月19日（水）3日目より健康福祉課での実習			
	午前		午後	
	8 : 30	出勤	13 : 00	高齢者福祉サービスについて
	8 : 35	オリエンテーション		
	8 : 45	ふれあい弁当事業について 説明		
	11 : 00	配達同行（利用者の声をきく）	15 : 30	事例検討
11 : 15	午後の資料確認			
12 : 00	昼休み	17 : 15	退勤	

	2月20日 (木)				
	午前		午後		
	8:30	出勤	13:00	高齢者見守り事業について	
	9:00	一人暮らし高齢者に対する支援について (担当: 地域包括)			
	10:15	自宅訪問 (同行)			
	11:15	たいそう教室 (NPO) 訪問見学	15:00	福祉サービス利用支援事業について	
	12:00	昼休み	17:15	退勤	
	2月21日 (金)				
	午前		午後		
	8:30	出勤	13:00	本郷地区サロン同行	
	9:30	災害ボランティアセンター設置訓練に参加 (担当: 社会福祉協議会) 要援護者の避難について (担当: 福祉係)	16:00	まとめ (全体)	
	12:00	昼休み	17:15	退勤	
	学び・気づき (300字程度)	今回府福祉課にて地域の見回りの事業について体験した。この見回り事業は、一人暮らしの高齢者を対象にお弁当を届けるというサービスだ。お弁当を配るといふことと、見回りのかねてしているの、一人暮らしで困ったことがあったらすぐに相談できるように役場と地域が連携してこの事業を継続している。特に冬の期間は、外に出る機会が極端に減るため様子を伺うということとはとても重要なことだと思う。こうした小さな取り組みを回数を増やしてすることで、一人暮らしでも安心して暮らせることが可能だと思う。「地域で高齢者を支えるということとは何か」という課題について知ることができたかと思う。			
	今後に向けた抱負 (200字程度)	私は今社会福祉士を目指しており福祉のことをもっと広く知ろうと戸沢村役場の健康福祉課にて福祉行政の在り方について深く学習した。実際に授業内でも福祉行政の内容は学習するが現場ならではの想い、もっとこうしたらよいのではないのかという考えが芽生えた。私が目指している福祉は医療福祉の分野だが、一つのことに深掘していくのではなく広く浅く知ることが重要なのではないのかと思った。広く知ること、新しい場面に出会ったとき、点と点をつなげられる自分の知識がどれほどあるかが、カギになると思う。今回実習中でできなかった利用者の想いについて何も考えていなかったことが一番悔いに残っている。夏に1か月の実習があるのでそこで今回学んだ経験も活かし、今後のソーシャルワークに生かしていきたいと思っている。最後に今後の抱負として「広く浅く知る」をモットーに今後の勉学に励んでいきたい。			
インターンシップをして気づいた、実習先の	健康福祉課には、医療介護係が行う業務として、国民健康保険、福祉医療、老人福祉医療、後期高齢者医療、国民年金、介護保険についての業務がある。また、健康推進係が行う業務として、健診、予防接種、母子保健、精神保健、健康推進、食生活改善事業についての業務などがある。 私が健康福祉課での実習は、健康福祉課の全体的な業務内容の説明と自宅訪問だった。その中でふれあい弁当事業というものがあつた。この事業内容としては、一人暮らしをしている高齢者を対象に、お弁当を配達しながら今日その日の体調確認と生存確認を兼ねて行う事業である。今回は戸沢村角川地区の配達に同行した。この事業を行って気づけたことは、これは一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるための対策の一つなのかならうということである。特に冬の期間は、外に出る機会が極端に減るため様子を伺うということとはとても重要な				

<p>魅力 (30 0 字)</p>	<p>ことだと思う。こうした小さな取り組みを回数を増やしてすることで、一人暮らしでも安心して暮らせることが可能だと思う。「地域で高齢者を支えるということとは何か」という課題について知ることができたと思う。</p>
<p>写真 (1 ~ 3 点)</p>	